

平成29年度第 2 回  
総合教育会議資料

たくましく生きていく  
子どもたちの育成について

平成29年11月14日（火）  
教育委員会事務局

# I 各種調査（29年度実施）から見える児童生徒の実態

## 1 調査等の概要

対象 小学6年生および中学3年生の全児童・生徒（区立）  
対象調査 平成29年度全国学力・学習状況調査  
平成29年度全国体力・運動能力等調査

	学力調査	学習状況・意識調査	体力調査
主な調査事項	小学6年生 ・国語、算数それぞれ「主に知識に関する問題（A）」および「主に知識を活用する問題（B）」  中学3年生 ・国語、数学それぞれ「主に知識に関する問題（A）」および「主に知識を活用する問題（B）」	小学校、中学校とも ・ものごとに取り組む意識 ・自分自身についての意識 ・社会や人とのかかわり	小学校、中学校とも ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横跳び ・20mシャトルラン （または持久走） ・50m走 ・立ち幅跳び ・ボール投げ （小学校はソフトボール、中学校はハンドボール）

## 2 学力調査結果

### 小学校

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
<b>練馬区</b>	<b>77%</b>	<b>62%</b>	<b>83%</b>	<b>51%</b>
東京都	77%	60%	81%	49%
全 国	74.8%	57.5%	78.6%	45.9%

### 中学校

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
<b>練馬区</b>	<b>80%</b>	<b>75%</b>	<b>67%</b>	<b>50%</b>
東京都	79%	74%	66%	50%
全 国	77.4%	72.2%	64.6%	48.1%

#### 【主な傾向】

- 練馬区の児童・生徒の平均正答率は、中学校の数学Bを除き、いずれも東京都および全国の平均正答率を上回っている。
- 中学校の数学Bの平均正答率は、全国の平均正答率は上回っているが東京都と同率。

### 3 学習状況・意識調査結果①

(1) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

	小学6年生				中学3年生			
	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
<b>練馬区</b>	<b>75.4</b>	<b>19.5</b>	<b>3.8</b>	<b>1.2</b>	<b>73.1</b>	<b>20.9</b>	<b>4.2</b>	<b>1.7</b>
東京都	74.5	20.2	4.0	1.3	73.3	20.8	4.2	1.6
全国	73.4	21.4	4.0	1.2	73.3	21.4	4.0	1.3

#### 【主な傾向】

- ものごとを最後までやり遂げた時にうれしかったと感じている割合は、小学校、中学校ともに90%を超えている。

(2) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

	小学6年生				中学3年生			
	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
<b>練馬区</b>	<b>27.1</b>	<b>50.1</b>	<b>19.5</b>	<b>3.2</b>	<b>18.8</b>	<b>49.6</b>	<b>26.2</b>	<b>5.3</b>
東京都	27.9	49.0	19.7	3.3	20.9	48.9	25.5	4.7
全国	26.7	50.7	19.5	3.0	19.9	51.1	25.1	3.8

#### 【主な傾向】

- 難しいことに挑戦している割合は、小学校と比較すると中学校では減少傾向である。

### 3 学習状況・意識調査結果②

(3) 自分には、よいところがあると思いますか

	小学6年生				中学3年生			
	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
<b>練馬区</b>	<b>37.8</b>	<b>40.1</b>	<b>15.0</b>	<b>7.0</b>	<b>27.9</b>	<b>41.2</b>	<b>20.2</b>	<b>10.5</b>
東京都	38.7	38.4	15.2	7.6	29.1	41.1	19.9	9.7
全国	38.6	39.3	14.9	7.0	28.2	42.5	20.5	8.6

**【主な傾向】**

●自分にはよいところがあると思う割合は、小学校、中学校ともに都および全国平均を下回っている。

(4) 将来の夢や目標を持っていますか

	小学6年生				中学3年生			
	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
<b>練馬区</b>	<b>69.3</b>	<b>16.2</b>	<b>8.6</b>	<b>5.9</b>	<b>43.6</b>	<b>25.1</b>	<b>17.2</b>	<b>13.9</b>
東京都	67.8	16.9	8.8	6.4	43.3	25.7	18.3	12.6
全国	70.0	15.9	8.1	5.9	45.3	25.2	18.3	11.0

**【主な傾向】**

●将来の夢や目標を持っている割合は、小学校、中学校ともに都および全国平均と比較して大きな差はない。

### 3 学習状況・意識調査結果③

(5) 今住んでいる地域の行事に参加していますか

	小学6年生				中学3年生			
	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
<b>練馬区</b>	<b>15.3</b>	<b>27.1</b>	<b>28.6</b>	<b>28.8</b>	<b>8.1</b>	<b>19.4</b>	<b>28.5</b>	<b>43.8</b>
東京都	20.3	28.5	26.1	24.9	11.3	21.4	28.8	38.4
全国	35.0	27.6	19.0	18.4	16.9	25.2	26.9	30.9

**【主な傾向】**

- 今住んでいる地域の行事に参加している割合は、小学校、中学校ともに都および全国平均よりも低い。

(6) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

	小学6年生				中学3年生			
	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
<b>練馬区</b>	<b>68.7</b>	<b>24.2</b>	<b>4.7</b>	<b>2.1</b>	<b>62.6</b>	<b>27.6</b>	<b>6.5</b>	<b>3.0</b>
東京都	67.0	24.8	5.5	2.5	62.6	27.7	6.2	3.2
全国	68.0	24.5	5.1	2.2	66.1	25.8	5.3	2.5

**【主な傾向】**

- 人の役に立つ人間になりたいと思う割合は、小学校、中学校ともに都および全国平均と比較して大きな差はない。

## 4 体力調査結果①

### 小学6年生男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
<b>練馬区</b>	<b>19.1</b>	<b>22.0</b>	<b>35.3</b>	<b>45.2</b>	<b>60.7</b>	<b>8.8</b>	<b>160.0</b>	<b>25.2</b>
東京都	19.4	22.1	35.9	45.3	59.1	8.8	162.2	25.3
全国 (27年度)	20.0	21.7	34.1	45.8	62.6	8.9	163.7	28.4

### 小学6年生女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
<b>練馬区</b>	<b>19.2</b>	<b>20.6</b>	<b>41.0</b>	<b>42.9</b>	<b>46.2</b>	<b>9.1</b>	<b>152.2</b>	<b>15.2</b>
東京都	19.1	20.6	41.2	43.0	46.2	9.1	154.3	14.9
全国 (27年度)	19.7	20.0	39.7	43.0	49.0	9.1	155.2	16.9

#### 【主な傾向】

- 立ち幅とびについては、男女とも都および全国平均を下回っているが、その他の種目は都平均と比較して大きな差はない。

## 4 体力調査結果②

### 中学3年生男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)
<b>練馬区</b>	<b>33.4</b>	<b>29.7</b>	<b>43.4</b>	<b>54.1</b>	<b>90.5</b>	<b>7.6</b>	<b>203.7</b>	<b>22.0</b>
東京都	33.7	29.8	45.6	55.0	90.7	7.6	208.6	22.9
全 国 (27年度)	35.7	30.8	47.9	55.6	96.8	7.4	214.6	24.8

### 中学3年生女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)
<b>練馬区</b>	<b>24.7</b>	<b>25.1</b>	<b>45.6</b>	<b>47.3</b>	<b>58.2</b>	<b>8.7</b>	<b>168.1</b>	<b>13.1</b>
東京都	24.7	24.9	46.5	47.6	57.3	8.7	170.1	13.3
全 国 (27年度)	25.5	24.6	47.5	47.2	62.4	8.6	174.0	14.7

#### 【主な傾向】

- 立ち幅とびについては、男女とも都および全国平均を下回っているが、その他の種目は都平均と比較して大きな差はない。



## Ⅱ 子どもたちが「生きる力」を身に付ける場や環境の提供

子どもたちが夢や目標を持ち困難を乗り越える力を身に付けるには、さまざまな活動への参加を通して、学力・体力・豊かな心が調和した学びの充実が必要です。

また、子どもたちが等しく学べる環境を整えることが大切です。

### 現在の主な取組

- (1) 臨海学校および移動教室等
- (2) 青少年健全育成活動
- (3) 支援が必要な子どもへの学習支援事業（中3勉強会）
- (4) 学校・地域連携事業 地域未来塾

# 1 臨海学校および移動教室等の実施状況

## (1) 臨海学校

対 象 中学1年生のうち希望者

宿泊日数 3泊4日



## (2) 移動教室

対 象 小学5年生および6年生全員

宿泊日数 2泊3日（5年生）

3泊4日（6年生）



## (3) スキー移動教室

対 象 中学2年生全員

宿泊日数 3泊4日



# 1 臨海学校および移動教室等の実施状況

## 場所

軽井沢・下田・武石・岩井の区立少年自然の家を拠点に、周辺地域等で実施。

## 目的

- ①集団生活の中で必要なことを身に付けるとともに、児童・生徒同士または教員との交流を図る。
- ②海での遠泳やスキー実習を通して、体力の向上や基本的な技能の習得を図る。
- ③自然に親しみ、学校の日常生活では得られない体験を通して、さまざまな学びを深める。

## 今後の方向性

児童生徒の安全確保に努めながら、引き続き各種事業を実施していく。

# 1 臨海学校および移動教室等の実施状況

	臨海学校	移動教室	スキー教室
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①海に親しみ、水泳練習・遠泳や集団生活に必要なことを身につけるため。</li> <li>②成長期の生徒が遠泳に挑戦し、達成感への喜びを知り、精神鍛錬に資するため。</li> <li>③学校の日常生活では体験できない、教師と生徒との交流および生徒同士の協力する心の育成を図るため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①緑の少なくなった都会を離れ、澄んだ空気と自然の中で健康増進を図るため。</li> <li>②土地の歴史、社会その地に生息する動植物、地形等の観察による学習をするため。</li> <li>③児童相互および教師との日常の学校生活では得られない交流を図るため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①普段の学習では味わえない冬の自然に親しみ、スキー実習を通して体力を高め、初歩的な技能を身につけるため。</li> <li>②集団生活の中で友達や先生との心の交流を図るため。</li> </ul>
対象	中学1年生のうち希望者	小学5年生および6年生全員	中学2年生全員
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下田少年自然の家 外浦海岸海水浴場</li> <li>・岩井少年自然の家 岩井海岸海水浴場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各少年自然の家 (下田、岩井、軽井沢、武石) 周辺施設等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽井沢少年自然の家 湯の丸スキー場</li> <li>・武石少年自然の家 番所が原スキー場</li> </ul>
実施時期	夏季休業中(7月下旬～8月中旬)	一学期(5月中旬～7月初旬) 二学期(9月初旬～11月初旬)	三学期(1月中旬～3月初旬)
宿泊日数	3泊4日	2泊3日(小学5年生) 3泊4日(小学6年生)	3泊4日
実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大遠泳への挑戦および完泳が目標</li> <li>・体育の授業および夏休みに10回程度、学校プールで水泳練習を実施する。</li> <li>・生徒の泳力向上を見極め、生徒の挑戦する心の育成に努める。</li> <li>・海底に足が届かない波立つ海で、生徒同士がバディを組んで助け合いながらの遠泳は、友情や協力心を育み、困難解決能力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学や体験学習</li> <li>・児童が協力しながらの地引網や飯盒炊飯、こんにゃく作り、林業体験における工作物作りを通じて、協体制度の重要性を学ぶとともに達成感を得る。</li> <li>・自然に恵まれた環境で、普段の生活では経験しない5km以上の長距離を、友達と励まし合いながらのハイキングを通じて友情を育み、精神の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキー指導は現地の指導員が担当</li> <li>・スキー未経験者であっても、班ごとに分かれてのスキー実習を通じて、最終日には全員がリフトを利用した滑りが可能になり達成感が得られる。</li> <li>・スキー経験者は、上級班に所属し、友だちと切磋琢磨しながら更なる技術習得を目指し、挑戦心を育む。</li> </ul>

## 2 青少年健全育成活動の実施状況

### (1) 青少年育成地区委員会

#### 活動主体

区内17地区の青少年育成地区委員約2,200人（地域のボランティア）

#### 活動内容

青少年の自主性と社会性をはぐくむための活動（青少年向けの地域行事）等を実施。



桜台地区委員会 川遊び（荒川）



第三地区委員会 百人一首大会



上石神井地区委員会  
アイススケート教室(東伏見)



## 2 青少年健全育成活動の実施状況

### (2) 青少年委員会

#### 活動主体

小学校通学区域（65校）ごとの青少年委員

#### 活動内容

ジュニアリーダーを養成するための講習会（仲間づくり、野外活動）等を実施。



ジュニアリーダー開講式



仲間づくり(ウォークラリー)



秩父キャンプ  
(キャンプファイヤー)

## 2 青少年健全育成活動の実施状況

### (3) ねりま遊遊スクール講座等

#### 活動主体

子どものための活動に取り組む地域の団体や、NPO法人等

#### 活動内容

子どもの成長・発達を目的とした体験型の講座（スポーツ、自然観察）等を実施。

# 2 青少年健全育成活動の実施状況

## (1) 青少年育成地区委員会

① スポーツ・文化活動	実施地区数	参加人数
野球・ソフトボール・サッカー・バレーボール・剣道等大会	14地区	3,036人
ゴルフ・ボウリング・水泳・アイススケート・キンボール等	5地区	534人
スポーツフェスティバル・運動会	4地区	623人
ラジオ体操	3地区	4,529人
なわとび記録会・ダブルダッチ（縄跳び）	2地区	284人
ファミリージョギング大会	1地区	1,248人
百人一首・かるた大会	6地区	813人
② 野外活動	実施地区数	参加人数
宿泊キャンプ（秩父青少年キャンプ場・武石少年自然の家）	7地区	431人
デイキャンプ・川遊び・飯盒炊さん	6地区	490人
ハイキング・潮干狩り・果物狩り・街歩き探検等	15地区	1,592人
③ 地域活動	実施地区数	参加人数
ボランティア活動（清掃活動・事業スタッフ等）	8地区	1,309人
こどもフェスティバル開催（祭りの企画・運営）	1地区	43人
中学生意見発表会・中学生サミット（生徒会意見交換会）等	3地区	112人

## (2) 青少年委員会

活動内容	参加人数
秩父キャンプ（2泊3日 テント泊・飯盒炊さん・キャンプファイヤー等）	208人
野外活動（ハイキング・ウォークラリー等）	274人
体験学習（防災学習等）・初級中級合同講習会（スポーツ大会等）	509人

## (3) ねりま遊遊スクール講座等

講座内容	実施団体数	参加人数
陸上・サッカー・ラケットテニス・ティーボール・水泳等	12団体	3,453人
ダブルダッチ(縄跳び)・スクラッチライン・空手	3団体	230人
ラジオ体操	1団体	39人
自然観察、川遊び、生きもの探し	8団体	221人
田植え・稲刈り体験	2団体	63人
アウトドア料理（飯盒炊さん等）	1団体	21人
科学実験（ソーラーパネル・ペットボトルロケット・気象）他	6団体	170人
和太鼓・バレエ	4団体	186人



## 2 青少年健全育成活動の実施状況

### 課題と今後の方向性

#### (1) 青少年育成地区委員会

〔課題〕 ○青少年育成地区委員の固定化による将来の担い手の確保・育成

○中学生の参加等の遞減

〔今後の方向性〕 ○PTA 等若手委員の確保と事業の活性化

○参加型事業から企画・運営型事業への転換

#### (2) 青少年委員会

〔課題〕 ○青少年委員の人材の育成

〔今後の方向性〕 ○青年リーダー、地域活動ボランティアスタッフとなる人材の確保

#### (3) ねりま遊遊スクール講座等

〔課題〕 ○地域の受託団体の固定化と減少

〔今後の方向性〕 ○子どもの居場所作り・児童館・スポーツ推進事業等他事業との連携

### 3 支援が必要な子どもへの学習支援事業の実施（中3勉強会）

#### (1) 対象

生活保護、就学援助の準要保護世帯の中学3年生のうち希望する者

#### (2) 目的

基礎学力の定着を支援することにより、子どもの未来の進路選択の幅を広げるとともに自立した生活を送ることができるようにする。

#### (3) 実施方法

委託により実施

#### (4) 実施状況

	27年度	28年度	29年度
場所	1か所 (2クラス)	6か所 (7クラス)	7か所 (7クラス)
利用者数	104人	241人 (86人)	239人 (45人)
修了者数	101人	212人 (63人)	—
進路決定者数	99人	212人 (63人)	—

※27年度は就学援助の準要保護世帯を対象に実施

※（）内の数字は生保受給世帯

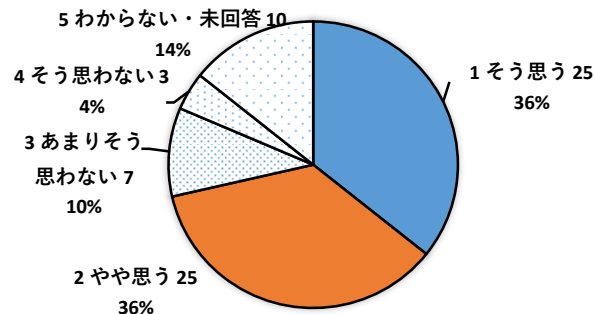
### 3 支援が必要な子どもへの学習支援事業の実施（中3勉強会）

#### (5) 過去2年間の進路先

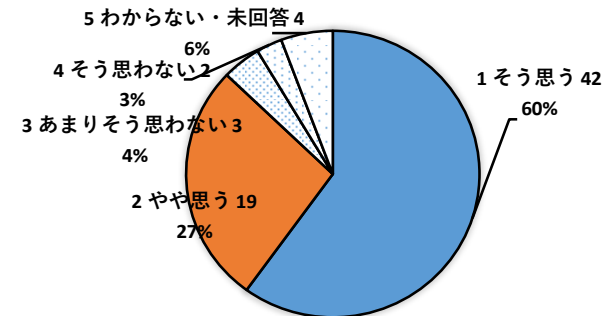
	高等学校 全日制課程			高等学校 定時制課程	高等学校 通信制 課程	専修学校 等	特別支援 学校高等 部	未定
	都内		都外	都内				
	公立	私立	公立	公立				
平成27年度	72人	12人	1人	9人	3人	1人	1人	2人
平成28年度	140人	35人	1人	25人	5人	6人	0人	0人

#### (6) 平成28年度利用者アンケート（一部抜粋、アンケート回収70人）

Q 「中3勉強会」に参加したことで、将来の夢や目標について考えることができたか。



Q 進路や将来を考えるときに相談に乗ってもらえる雰囲気、環境であったか。



#### ◆自由意見（一部抜粋）

- ・ 家にいるより勉強ができて志望校に合格できた。
- ・ 先生が分かりやすく教えてくれ、雰囲気もよく落ち着いて勉強できた。

### 3 支援が必要な子どもへの学習支援事業の実施（中3勉強会）

#### 課題と今後の方向性

##### 〔課題〕

- 学習支援事業を修了した利用者に対する進学後のフォロー対応
- 個々の利用者に最も適した学習支援の提供

##### 〔今後の方向性〕

- 前年度学習支援利用者の保護者に対する進路後調査の実施
- 各課で行う学習支援事業との相互連携
- 学習支援事業利用を希望する者すべて受け入れる体制の整備

# 4 平成29年度 学校・地域連携事業 地域未来塾

## (1) 対象

家庭での学習が困難な児童・生徒や、学習習慣が十分身につけていない児童・生徒を各校で決定

## (2) 目的

学習支援を行うことで学習習慣の確立や基礎学力の定着を目指す。

## (3) 実施方法

放課後、土・日曜日、長期休業日に大学生や教員OBなど地域住民の協力により実施。

## (4) 実施状況

### ●地域未来塾実施校数等

校種	学校・地域連携事業実施校数	地域未来塾実施校数(29年7月)	29年度中に実施予定
小学校	43校	23校	6校
中学校	21校	15校	6校
合計	64校	38校	12校

### ●地域未来塾実施日数等（平成29年7月末時点）

校種	実施校の平均実施日数	1日当たりの参加者数(1校当たりの平均)	1日当たりの学習支援員数(1校当たりの平均)
小学校	13.1日	27.1人	2.3人
中学校	11.0日	36.5人	1.8人

※幼稚園は除く。小中一貫教育校は小1校、中1校としてカウント。

## 4 平成29年度 学校・地域連携事業 地域未来塾

### (5) 成果

ア 学校（平成29年4月の東京都調査より）

- ① 学習に向かう意欲の向上や、学習内容の基礎・基本の定着が図られた。
- ② 生徒の個別指導が実現した。
- ③ 教員の負担軽減が図られた。

イ 生徒（実施中学校の地域未来塾参加生徒の感想）

- ① 授業で分かりにくかった内容を理解できた。
- ② 大学生と会話する中で、進路について考えるきっかけとなった。
- ③ 自宅学習は難しいが、未来塾は学習に取り組む環境が整っていて学習しやすい。

### 課題と今後の方向性

#### 〔課題〕

- 講師の人材の確保

#### 〔今後の方向性〕

- 平成30年度よりすべての区立学校において、学校・地域連携事業を実施することに伴い、地域未来塾の実施校も拡充する。